

年閏二月五日利幹の嗣子となり、十四年十二月十六日從五位下出雲守に叙任、文政七年十二月十六日從四位下に陞り、天保六年十月十九日家督相續、九年十二月十六日侍從に任ぜられ、弘化三年十月二十日致仕して長門守と改め、安政六年八月十八日富山に卒し、十二月二十日發喪、享年六十。長岡に葬り、光嚴寺を菩提所とし、法號は龍澤院雲巖良瑞大居士。後明治四十二年九月十一日從三位を追贈せらる。

○正室 久美、又延。廣島侯淺野安藝守齊賢の女。利保の卒後寶壽院と稱したが、明治十七年神道に歸して寶壽といひ、廿一年十一月廿二日歿、享年八十六。

十一代 前田利友
初名鏑之丞・啓之助。利保の六男、母は側室紫雲院。天保五年二月朔日江戸に生まれ、弘化三年十月二十日家督相續、四年十二月十六日從五位下出雲守に叙任、嘉永元年十二月十六日從四位下に陞り、六年十二月十日江戸に於いて卒し、二十日發喪、享年二十。長岡に葬り、大法寺を菩提所とし、法號は嶺嶽院瑞雲日繼大居士。

十二代 前田利聲
初名鏑之丞・房之助。主計、初諱利由。利保の七男、母は側室紫雲院。天保六年二月十七日江戸に生まれ、嘉永六年十二月十九日兄利友の養子たることを届出で、二十七日許可を得、安政元年二月十二日家督相續、十二月十六日從五位下主計頭に叙任、同月廿八日從四位下に陞り、大藏大輔と改め、六年十一月二十二日致仕して露山と號し、明治三十五年六月二

十日從二位に進み、三十七年二月十六日東京に薨去。享年七十。神式を以て谷中延命院の墓地に葬り、諡號はない。

十三代 前田利同
加賀侯前田齊泰の十一男。富山侯十二代前田利聲の後を襲ぐ。通稱茂松・稠松・淡路守。諡號はない。傳別出。

○正室 淑。父は上野高崎侯松平右京亮輝聰。安政四年正月江戸に生まれ、明治四年六月入興、大正十一年十一月廿五日歿、享年六十六。神式を以て普羽護國寺の墓地に葬る。

マヘダウチ 前田氏(七日市藩主) 上野七日市藩は加賀・能登と關係する所はないが、加賀侯の支家であるから、今その歴世の傳を掲げる。

初代 前田利孝
加賀藩祖前田利家の五男。通稱孫八郎・大和守。法號慈雲院。傳別出。

○正室 某、近江膳所侯本多縫殿助康俊の女。貞享三年十二月廿六日歿、享年六十一。法號養福院秀峰壽松大姉。

二代 前田利意
初名孫八郎・右近。初諱利豊。利孝の嫡男、母は養福院。寛永二年六月十七日江戸に生まれ、十四年九月八日家督相續、同年入部、萬治三年十二月廿八日從五位下右近大夫に叙任、寛文四年四月徳川家綱から、又貞享元年九月徳川綱吉から領知判物を受け、二年四月廿八日七日市に卒、享年六十一。七日市の長學寺に葬り、法號は靈雲院桃岳宗吾大居士。

某、常陸笠間侯(元信濃松本侯)松平丹波守康長の女。正保四年入興し、後離縁。

三代 前田利廣
初名大助、後宮内。利意の嫡男、母は側室成聖院。正保二年九月十九日七日市に生まれ、貞享二年七月廿五日家督相續、元祿六年七月九日江戸に歿、享年四十九。長學寺に葬り、法號は觀性院然山宗廓大居士。

○正室 某、下野壬生侯三浦志摩守安次の女。正徳元年四月廿三日歿、法號は松壽院妙證日久大姉。

四代 前田利慶
初名孫八郎、後右京。利廣の嫡男、母は側室某。寛文十年江戸に生まれ、元祿六年九月十六日家督相續、七年八月十二日入部、八年九月七日江戸に歿、享年廿六。駒込吉祥寺に葬り、法號は超玄院楚雲萬里大居士。

五代 前田利英
初名長十郎、後隼人。初諱利重。利廣の二男、母は側室某。元祿二年三月十七日七日市に生まれ、八年十一月二日家督相續、寶永五年二月十五日江戸に歿、享年二十。長學寺に葬り、法號は楞嚴院大空高月大居士。

○正室 某。常陸牛久侯山口修理亮重貞の女。寶永四年六月婚約、十月未だ入興せずして歿。

六代 前田利理
初名又五郎。初諱利方・利安。父は前田帶刀孝始で、孝始は孝矩の子、利孝の孫である。母は藩侯利意の女眞鏡院。元祿十三年正月十八日江戸に生まれ、寶永五年二月十一日利英の嗣となり、四月七日家督相續、正徳元年五月三日利方を利安に改め、二年四月十一日徳

川家宣から領知判物を受け、三年三月七日從五位下大和守に叙任し、八月三日丹後守と改め、享保元年入部、二年八月十一日徳川吉宗から領知判物を受け、寛保二年六月二日再び大和守に復し、十一月朔日諱を利理と改め、寶曆六年十一月三日七日市に卒、享年五十七。長學寺に葬り、法號は禮源院仁宗良心大居士。

○正室 爲。富山侯前田正甫の女。享保七年四月廿一日入興、天明四年十二月九日歿、享年八十一。法號は長壽院操雲天松大姉。

七代 前田利尚
初名豐平・宮内。利理の四男、母は側室星野氏。元文二年九月廿七日七日市に生まれ、寶曆六年閏十一月廿九日家督相續、十二月十八日從五位下大和守に叙任、八年六月入部、十一年十月廿一日徳川家治から領知判物を受け、天明元年五月十一日丹後守と改め、二年五月九日致仕、寛政四年六月廿四日江戸に卒、享年五十六。駒込吉祥寺に葬り、法號は本覺院廓然玄性大居士。

○正室 (一)某、備中松山侯板倉周防守勝澄の女。寶曆九年八月十六日入興、明和三年八月十三日歿、享年廿四。法號は心光院月桂孤圓大姉。

(二)某、相良氏。寛政三年五月廿六日歿、法號は惠明院本光普照大姉。

八代 前田利見
初名豐平・右近。利尚の二男、母は心光院。明和元年九月十四日江戸に生まれ、天明二年五月九日家督相續、六月七日入部、三年十二月十八日從五位下右近將監に叙任、六年二月